

祈りは答えられる

「神よ。私を探り私の心を知ってください。私を調べ私の思い煩いを知ってください。
私のうちに傷のついた道があるかないかを見て私をとこしえの道に導いてください」

(詩篇139:23~24)

真の祈りは私たちを霊的に成長させることができます。

神様は、罪を犯した私たちが真に悔い改めるなら、主イエス様の十字架の贖いによって、罪を赦して下さいます。そして私たちは、もう二度と神様の御心を悲しませたくないと思うのです。ところが、私たちの心の奥底にある隠れた罪が時々表れて来ます。自分の真相を私たちは知りませんが、神様に具体的に祈るなら、神様は私たち自身で気付くことができない心の奥底に深く隠れた罪に、光りを当てて、求めを与え、きよめに導いて下さいます。

聖書の学び

I、祈りは、霊的な成長を与える

1、詩篇の139編は、ダビデが罪を犯し、悔い改め、赦された後、詠んだ詩です。ここに神様についてダビデが悟った事が詠まれています。

①自分にとって、神様はどのような方でしょうか。(詩篇139:1~3)

②内なる欲望を押さえられず罪を犯してしまったダビデですが、内に潜む心の思いをどうして欲しいと言っていますか？(詩篇139:23)

2、心の内を神様が祈りを通して教えて下さるなら、それを知った私たちはどうすることができるでしょうか。(詩篇139:24)

①傷が付いた道=罪を犯していた過去をどうしたらよいでしょうか。(Iヨハネ1:9)

②とこしえの道とはどのような道でしょうか？

3、罪に傾く自分の罪の性質や肉の欲望を、私たちはどうしたらよいでしょうか。

①ガラテヤ2：19～20

②ガラテヤ4：19

Ⅱ、祈りは、働きに力を与える

(使徒の働き1：8)

※私たちが自分に死に、ご聖霊に全く依り頼み、祈るとき、ご聖霊は豊かに働いて下います。

①必ず祈りは答えられると期待して祈る

一人の婦人が牧師先生に相談に来ました。彼女の息子が不良になり、手に負えないということでした。「どうしたらよいのでしょうか？私は息子のために幾度となく祈って来たのですが…」「それでは、あなたはお子さんの悔い改めと、品性の向上のために祈りましたか？また、祈りは必ず答えられると期待して祈りましたか？」この日から子どものために熱心に祈り始めました。すると間もなく、少年に変化が起こり、やがて彼は立派なクリスチャンになりました。

②熱心に神に祈る

教会学校で長年子どもたちを導きながら、その実を結ぶことがなかったという教師が、とりなしの祈り秘訣を学びました。彼は生徒一人一人のために熱心に神様に祈りました。しだいに教会学校に変化が現れてきて、多くの子どもたちが神を信じ、クリスチャンになったのでした。

③他の人の救いに助けを与える祈り

私たちが救われた背後に、必ず誰かの祈りがあります。祈りなくして人が救われることはないのです。

④自分に頼らない

多くの伝道者たちが貧弱な自分の才能と賜物に頼ることをやめ、自分を投げ出し神の献げ、上からの力を待ち望むことによって、力ある神の人になりました。

まとめ

祈りによって、私たちは自分の真相を知り、ご聖霊に生きて頂く者にしただけです。ご聖霊は自分ではなくご聖霊に頼る者を用いられます。